

第2回 SYVP ソーシャルイノベーション研究会

同志社大学商学部・瓜生原研究室では、マーケティングの手法を用いて、社会で望ましい行動に対する新しい価値を普及させ、好ましいイメージを形成することで、人々をその行動へと導き（ソーシャル・マーケティング）、社会課題の解決に貢献することを志しています。

その具体的な課題として、保険証、運転免許証、マイナンバーカードの裏に記載欄がある「臓器提供意思表示」の表示率が、12.6%（内閣府 2013 年調査結果）と低いことに着目しています。意思表示行動に関心がない人、関心はあるが意思表示すべきかどうか決めかねている人、意思表示しようと心に決めたと実行していない人など、様々な思いを調査・分析し、各段階で最も効果的な介入方法を考え、実行し、その効果を測定しています。また、分析を行い、効果的な方法のメニューを開発しています。さらに、知識獲得、イメージ変容、態度変容、行動変容のメカニズムを探究し、様々な行動を促すモデルを確立することを目指しています。

この度、3年生23名を中心とした「Share Your Value Project (SYVP)」で2016年度に取り組んだアクションリサーチの結果報告会を、以下の要領で開催致したく存じます。ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえご参加賜りますようご案内申し上げます。

日時：2017年2月25日（土）13:00-17:30

場所：同志社大学今出川校地(京都市上京区)、至誠館3階S32教室

<https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/overview.html>

主催：同志社大学商学部 瓜生原研究室 Share Your Value Project, 後援：同志社大学良心学研究センター

■ 対象

ソーシャルイノベーション・ソーシャルマーケティング・行動科学・科学コミュニケーションに関心がある方、医療に関心がある方など。研究者、学生、一般問いません。

■ プログラム

13:00-13:05 開会の辞

13:05-14:35 Part1：行動変容を促す Strategic Plan

- ・ ソーシャルイノベーションの普及とSYVPの創成
- ・ Strategic Plan
- ・ 戦略的 Public Relations
- ・ アウトカム測定方法の開発
- ・ 科学技術コミュニケーション手法の開発

14:50-17:10 Part2：ソーシャルマーケティングで意思表示行動を促進する

- ・ 行動変容を促す『MUSUBUキャンペーン』
- ・ 関心のない層に関心を持たせる（WSに関心を持たせる、意思表示に関心を持たせる）
- ・ イベントへの集客とファンづくり
- ・ 好ましい知覚品質を形成する
- ・ 行動へと促すーギネス世界記録@挑戦を通じた行動変容の促進ー
- ・ 行動変容メカニズムの探索ー行動と態度、知識の関係ー

17:10-17:30 総評、閉会の辞

■ 総評：深尾立先生（筑波大学 名誉教授）、門田守人先生（日本臓器移植移植ネットワーク 理事長）

■ 研究報告へのコメント：

島田光生先生（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部消化器・移植外科学 教授）

中山健夫先生（京都大学大学院医学研究科健康情報学分野 教授）

南智恵子先生（神戸大学大学院経営学研究科 教授）

八木 匡先生（同志社大学経済学部 教授）ほか

【お問合せ】同志社大学商学部 瓜生原葉子 E-Mail：yuryuhar@mail.doshisha.ac.jp

※事前に参加申込みをいただければ幸いです。当日参加も大歓迎です。

◎ SYVPの活動の様様、メンバーの想いを、Facebook (@shareyourvalue)で発信しています！